

ケアネットせとうち通信



市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」

かかりつけ医を持つことの大切さ

～ 住み慣れたまちでいつまでも安心して過ごすために ～

講演「かかりつけ医を持ちましょう ～病気の早期発見と継続治療が健康の秘訣～」
おさふねクリニック 院長 中村 明彦 氏

発表「かかりつけ医に気兼ねなく相談することの大切さ
～住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けるために～」
瀬戸内市民 菊地 友和 氏

座長 邑久医師会 副会長 長田 建 氏

11月9日に、瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会と瀬戸内市の主催で市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」をゆめトピア長船で開催し、市民や関係者82名が参加しました。

発表者の菊地氏からは、体調に変化があった際にかかりつけ医に相談し、すぐに受診できたことで予後が良好だった体験の発表がありました。

その後、講師の中村氏からは、かかりつけ医は患者の変化に気づきやすく病歴や体質なども把握しているため適切な治療ができることや、生活習慣病の継続治療の大切さなどについて、事例も交えてわかりやすい説明がありました。

参加者からは、「かかりつけ医を持つことの大切さを感じた」「近くで気兼ねなく相談できるかかりつけ医と今後も信頼関係を築いていこうと思った」「かかりつけ医に電話で相談してもいいことを知らなかった、今後困った時は相談したいと思った」などの感想をいただきました。



関係機関・団体にご協力いただいて設置した特設コーナーについては次ページでご紹介します！

瀬戸内市地域包括支援センター



情報提供コーナー

瀬戸内市高齢者入所施設 代表者会



相談コーナー

岡山県介護支援専門員協会 瀬戸内支部



福祉用具コーナー・介護相談コーナー

岡山県栄養士会玉瀬支部



栄養食品コーナー

瀬戸内市地域生活支援センター スマイル



情報提供コーナー

岡山県歯科衛生士会



口腔ケアコーナー

講演・発表に先立って関係機関・団体にご協力いただいて設置した特設コーナーでは、対面での説明、パンフレットやレシピの配布、相談、啓発などを行いました。多くの参加者の皆さんが講演・発表までの時間で複数のコーナーを回り、いずれのコーナーも賑わっていました。

瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会を開催しました

愛称：ケアネットせとうち

医療・福祉・保健の関連団体から選出された委員が連携し、在宅医療・福祉・保健連携推進に必要な事項について検討を行っています。

第2回 令和6年9月10日(火)・第3回 令和6年12月17日(火)

第2回・第3回の協議会では、在宅療養者の生活場面のうち、医療と介護が共通する4つの場面(①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取り)に関して、各機関・団体から

- ・他の職種に知ってほしいこと
- ・所属する機関・団体等で必要と考える知識
- ・情報連携に必要な書式

などを挙げていただき、多職種連携に必要な知識を備えた人材の育成、様式の整備等について協議を行いました。いただいたご意見や協議内容は、随時事業等への反映を行っていきます。

また、市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」についても、第2回で内容等に関する協議、第3回で開催報告を行っています。



瀬戸内市在宅医療多職種連携研修会

- 日 時 令和7年1月16日（木）
午後7時～午後8時40分
- 場 所 瀬戸内市役所
- テーマ 口腔の健康と全身健康の関連性
～多職種連携の視点から～
- 講 師 なかしま歯科医院 院長 中島 啓一朗 氏
- 座 長 瀬戸内市歯科医師会 会長 大西 俊之 氏
- 参加者 医療・介護・福祉・行政関係者60名



大西 俊之 氏



中島 啓一朗 氏



「口からはじめる健康長寿」と題した講演では、講師の中島氏から、口と歯と全身の健康を中心にデータを用いてわかりやすくお話しいただきました。参加者からは、「歯科に定期的に通い検診を受けることによって健康で長生きできて医療費削減になるということに驚きました」「早めの予防がいかに大切か、歯の重要性を改めて再認識できました」「職場でも口腔ケアをきちんとしていこうと改めて思いました」など多くの感想をいただき、今後の支援に活かせる内容となりました。

瀬戸内市内高齢者入所施設合同研修会

高齢者入所施設での生活支援の状況等の意見交換を行い、利用者が住み慣れた地域や施設で、その人らしく安心して暮らし続けるための生活支援のあり方について考えることを目的として、市内7施設と瀬戸内市の協働で合同研修会を、7月31日と11月15日に瀬戸内市総合福祉センターで開催しました。

メインテーマは、「笑顔で長生き、利用者の生活の質（QOL）の向上のために～今、私たちにできる取り組みを考える～」。各施設から選出された企画運営係員の皆さんが研修の企画を考え、当日の準備・進行も工夫して進めていただきました。

第1回では、参加者それぞれが課題と感じていることや困っていること、各施設での取り組み等の意見交換を行いました。出た意見については各施設に持ち帰って実践し、第2回では、取り組んでどうだったか、今後取り組みたいことなどについて話し合いました。参加者からは、他施設の取り組みが聞けてよかった、参考にしたいといった意見が多く出ており、実りある研修会となりました。

グループごとのテーマ

- 1-1G・1-2G 少人数で支援する工夫
- 2G モチベーションUP
- 3-1G・3-2G 職員間の連携のとり方





せとうちカフェ

テーマ

見方を変えるとプラスが見えてくる ～明日から仕事に活かせる リフレーミング～



前回のせとうちカフェ終了後の反省会で、途中の席の移動がない方が話しやすいのではないかという意見が出たことから、11月20日に開催した第27回せとうちカフェは、会の途中に名刺交換タイムを設ける代わりに席の移動を行わず、1つのテーマでテーブルトークを行いました。参加者からも「席の移動がなかった分、同じメンバーでゆっくりと話をするのができた」「名刺交換タイムが良かった」などの感想をいただいたため、次回のせとうちカフェでも、1つのテーマでテーブルトークを行う予定です。市内の事業所にご案内をお送りしていますので、お誘いあわせの上、ご参加ください。



予告 第28回 せとうち カフェ

日 時：令和7年2月20日（木）午後6時30分～午後7時30分

テーマ：笑 う門には 福 来る ～どん底からの回復～

場 所：瀬戸内市役所



トータルサポートセンター（ケアネットせとうち事務局）のご案内

医療・福祉・保健等に関する総合的な相談を受け、多職種連携で支援を行います。

【相談対応職員】
保健師

【相談時間】
午前8時30分～午後5時15分
(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)

【所在地】
瀬戸内市邑久町山田庄862番地1
(瀬戸内市総合福祉センター2階)

【電話番号】(0869) 22 - 3800

【ファックス番号】(0869) 22 - 3801

